

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 30 日現在

機関番号：17501

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2010～2012

課題番号：22590476

研究課題名（和文） 占領期の保健医療政策に関する考察 GHQ文書内の相互リンク化による検証

研究課題名（英文） Consideration about the medical care policy of an occupation term in Japan: Verification by mutual link in GHQ documents

研究代表者

杉田 聡 (Sugita Satoru)

大分大学・医学部・教授

研究者番号：00222050

研究成果の概要（和文）：第二次大戦後の占領期において、「占領した側」のGHQ/SCAP/PHW(連合国最高司令官総司令部 公衆衛生福祉局)と「占領された側」の厚生省との間で行われた政策の交渉過程と結果を、①これまで系統的に分析が行われてなかったGHQ文書を解読、復刻、ハイパーリンク化、時系列の並び替え、文書作成者ごとの分別等(相互リンク)を行い、②GHQ文書のDaily Journalの分析と、既存の国内資料との比較・検証を行った。

研究成果の概要（英文）：At the occupation term after the Second World War GHQ/SCAP/PHW (General Headquarters/Supreme Commander for the Allied Powers/Public Health and Welfare) of "the side which occupied", and the Ministry of Health and Welfare of "the occupied side", The GHQ document in which analysis was not conducted systematically until now is decoded. By performing reproduction and mutual link for two or more GHQ documents, the bargaining process of a policy, analysis of a result, and comparison and verification are performed.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,500,000	450,000	1,950,000
2011年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2012年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
総計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：境界医学・医療社会学

キーワード：医学史、保健医療史、占領史、医療政策

1. 研究開始当初の背景

占領期の日本では間接占領制が布かれ、占領軍総司令部の指示や示唆の下、日本政府の担当官庁が政策をその行政機構網を通じて実施した。保健医療政策においては公衆衛生福祉局(PHW)が占領軍側の担当部署であり、日本政府側の担当部署は主に厚生省であった。占領期は混乱の時代であり、この時代の保健医療政策を分析するための史料は日本

国内にはあまり残存していない。

一方、占領軍においては、占領終了時に多くの行政文書を米国に持ち帰っており、米国国立公文書館の情報開示により、研究の対象とすることが可能になっている。保健医療政策に関しては、PHWの活動を46都道府県に駐留する地方軍政部へ連絡するために作成されたWeekly Bulletin(週刊広報)と、予防医学課、資材課などの担当部署で業務報

告書として作成された Memorandum for Record(記録用覚書)とが存在する。このうち、研究者らは既に 1945-1952 年の Weekly Bulletin を復刻した。その次の研究過程として、PHW の部内で回覧された Daily Journal に保存されている Memorandum for Record を解読・復刻することが重要だと考えた。

2. 研究の目的

GHQ/SCAP/PHW 文書中の Memorandum for Record の復刻作業を行い、GHQ 文書の電子ファイル化による時系列分析を行い、年次別・都道府県別にどのような保健医療政策が実施されたかを、それぞれの案件について解明することを目的とした。

3. 研究の方法

既に復刻・解読を終えた Weekly Bulletin により明らかになった占領期の保健医療政策の動向を基に、Daily Journal に貼付された Memorandum for Record を、解読・復刻して電子ファイル化した。これらの文書は時、何重にもカーボンコピーされたため判読が困難になっている。これを解読した後、電子ファイル上に復刻を行い、書類作成年月日、表題、書類起草者名等を Microsoft Access 等のソフトを用いてデータベース化するほか、文中に他の関連文書等が出てきた場合はこれをハイパーリンク化して、項目ごとの関連付けを容易にするよう努めた。また、文中に出てくる人物などの固有名詞や様々なキーワードでの検索も、この電子ファイル化作業によって容易になるようにした。

4. 研究成果

Daily Journal 文書中に貼付されている Memorandum for Record をすべて集計し、合計 17,671 文書について、書類作成年月日、報告者名、所属課、表題をリスト化した。以下に所属課、年次別の表を示す。全体の傾向としては、年次としては 1947-1949 年の 3 年間で全体の約 7 割を占め、所属課としては Preventive Medicine, Supply, Welfare 等が相対的に多かった。

さらなる研究成果としては、これらの 17671 文書をデータベース化して表題や報告者名で検索を可能とした。その結果、各所属課の職員の推移を明らかにできた。

年	Preventive Medicine	Laboratory Consultant	Laboratory Branch	Typhus Consultant	Tuberculosis Consultant	Tuberculosis Control Branch	Nutrition Consultant	Nutrition Branch	Sanitary Engineer	Virus & Ricketfeial Disease
1945	136	0	0	0	0		0	0	0	0
1946	219	37	0	11	0		74	0	1	2
1947	126	94	0	68	60		37	0	23	27
1948	223	43	0	3	30	0	0	57	26	14
1949	190	4	52	6	0	48	0	7	15	2
1950	153	0	92	0	0	25	0	0	30	0
1951	120	54	0	0	0	26	0	0	13	0
1952	142	0	0	0	8	8	0	0	0	0
	1309	232	144	88	98	107	111	64	108	45

年	Supply	Stock Control Officer	Personnel Coordinator	Welfare	Social Work Training	Social Insurance	Social Security	Public Assistance	Organization & Rehabilitation	American Red Cross	Administrative Division	Communicable Disease
1945	146	0	0	78	0	0	0	0	0	0	0	0
1946	847	13	0	363	0	4	1	0	0	3	0	0
1947	1462	0	5	738	0	29	122	0	0	65	0	0
1948	1059	13	12	423	109	1	144	122	22	30	0	0
1949	974	0	0	472	128	0	140	69	235	10	57	0
1950	616	3	0	515	29	0	165	46	5	3	53	26
1951	274	5	0	156	0	0	54	67	0	0	38	10
1952	86	0	0	103	0	0	1	0	0	0	7	0
計	5464	34	17	2848	266	34	627	304	262	111	155	36

年	Hospital Administration	Medical Service	Nursing Affairs	Midwife Consultant	Public Health Nursing Consultant	Nursing Education Consultant	Nursing Consultant	Health Education Program	Dental Affairs	Veterinary Affairs
1945	39	0	51	0	0	0	0	0	17	26
1946	32	5	113	0	0	17	3	0	18	123
1947	0	65	94	0	0	26	7	0	24	127
1948	0	46	89	16	14	4	0	52	8	146
1949	0	155	107	4	11	30	0	73	0	259
1950	0	148	88	0	11	12	0	73	0	245
1951	0	128	20	0	0	0	0	17	0	101
1952	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0
計	71	562	562	20	36	89	10	215	67	1027

年	Legal	Narcotic Control	Vital Statistics	Epidemiology Branch	Chief (Sams)	Deputy Chief	PHW	Executive Officer	Area Director	Liaison & Operations Branch	Atomic Bomb Casualty	その他	不明	総計
1945	13	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	35	18	576
1946	36	40	16	2	5	78	93	39	0	0	0	33	56	2339
1947	38	0	10	11	49	1	3	22	34	0	5	60	42	3558
1948	0	265	17	21	38	10	0	6	11	66	12	45	23	3287
1949	0	332	5	5	6	4	1	2	0	0	0	9	1	3483
1950	0	205	6	0	0	3	0	3	0	0	0	14	3	2574
1951	0	154	2	0	0	0	88	2	0	0	0	14	7	1350
1952	0	38	0	0	0	0	94	0	0	0	0	2	0	504
計	87	1034	56	39	98	113	279	74	45	66	17	212	150	17671

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[学会発表] (計 12 件)

① 田中誠二、杉田聡、丸井英二：戦後占領期における発疹チフスの流行 昭和 21 年の東京に着目して、第 71 回公衆衛生学会総会、2012 年 10 月 24 - 26 日、山口市市民会館

② 杉田聡、田中誠二、丸井英二：占領期の日本における GHQ/SCAP/PHW の組織と職員の変遷に関する考察 (第 2 報)、第 77 回日本民族衛生学会総会、2012 年 11 月 16 - 17 日、東京大学山上会館

③ 田中誠二、杉田聡、丸井英二：第二次大戦後の滋賀県彦根市におけるマラリア対策—自主製作映画「翼もつ熱病」について、第 77 回日本民族衛生学会総会、2012 年 11 月 16 - 17 日、東京大学山上会館

④ 杉田聡、田中誠二、丸井英二：占領期の日本における GHQ/SCAP/PHW の組織と職員の変遷に関する考察、第 113 回日本医史学会学術大会、2012 年 6 月 16 - 17 日、獨協医科大学

⑤ 田中誠二、杉田聡、丸井英二：戦後占領期における天然痘の流行と対策、第 113 回日本医史学会学術大会、2012 年 6 月 16 - 17 日、獨協医科大学

⑥ 杉田聡、田中誠二、丸井英二：占領期下の日本で保健医療福祉分野の改革に携わった GHQ/SCAP/PHW の組織と職員に関する考察、第 76 回日本民族衛生学会総会、2011 年 11 月 24 - 25 日、福岡大学

⑦ 田中誠二、杉田聡、丸井英二：戦後占領期における性感染症の流行と対策、第 76 回日本民族衛生学会総会、2011 年 11 月 24 - 25 日、福岡大学

⑧ 田中誠二、杉田聡、丸井英二：戦後占領期における性感染症—GHQ/SCAP 文書にみる軟性下疳の流行—、第 112 回日本医史学会学術大会、2011 年 6 月 11 - 12 日、順天堂大学

⑨ 田中誠二、杉田聡、安藤敬子、丸井英二：戦後占領期における性感染症—GHQ/SCAP 文書にみる「淋病」の流行—、第 69 回日本公衆衛生学会、2010 年 10 月 27 - 29 日、東京国際フォーラム

⑩田中誠二, 杉田聡, 丸井英二: 戦後占領期における赤痢の流行とその対策, 第75回日本民族衛生学会総会, 2010年9月25-26日, 北海道大学

⑪杉田聡, 田中誠二, 丸井英二: 占領期の保健医療改革の研究におけるGHQ/SCAP/PHW文書の活用, 第75回日本民族衛生学会総会, 2010年9月25-26日, 北海道大学

⑫田中誠二, 杉田聡, 安藤敬子, 丸井英二: 戦後占領期における性感染症—GHQ/SCAP文書にみる梅毒の流行—, 第111回日本医史学会学術大会, 2010年6月11-13日, 茨城大学

[その他]

ホームページ等

①GHQ/SCAP/PHW(連合国最高司令官総司令部公衆衛生福祉局) Weekly Bulletin 復刻資料
<http://www.rekishow.org/GHQ-PHW/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

杉田 聡 (Sugita Satoru)

大分大学・医学部・教授

研究者番号: 00222050

(2) 研究分担者

田中 誠二 (Tanaka Seiji)

新潟大学・人文社会・教育科学系・講師

研究者番号: 60561553